

2024年3月19日(火)

著者:名工大硬式野球部主将 神谷勇有真(社会工学科3年) 校閲:同主務 森恭平(理工工学科3年)

名工大硬式野球部(新)キャプテンの覚悟

※学年は2024年新年度から

2023年10月14日(土)、秋季リーグ順位決定戦で、日本福祉大学に勝利して2部残留が決定。その試合後の選手間ミーティングにて、僕は大須賀(理工工学科④刈谷)に代わる次のキャプテンに指名された。その後数日も経たないうちに新主務の森(理工工学科③都市大等々力)※や他の同期との役割分担も決め、新体制が本格的にスタートした。そして現在はやるべきことの優先順位づけなどを主務たちの助言を得ながらチーム運営をしている。

もうすぐ春の開幕戦を迎えるにあたって、僕は冬の成果をこのように振り返る。

「この冬名工野球部では自主的に筋トレする者が多かった。結果として野手は4番バッター並みの筋力の持主が5人となり、中でも一番筋力のある村田(④藤島)を軸とした重量級打線が完成した。この打線は一度ハマれば、止めることはできないであろう。一方の投手陣は全体練習では野手とは別で練習しているものの、投手リーダーの坂下(③東海)やエース加藤(④西条)が中心となって、全員が向上心を持ちながら楽しく練習に励んでいたように見えた。」

昨年の春季リーグにおいて、先輩たちがやっとの思いで掴み取った2部昇格。僕たちもなんとしても2部残留はしたい。またチーム一丸となり個々の力を出し切れれば、リーグ優勝も夢ではないと思っている。今までしてきた自分たちの野球を信じて泥臭く、エンジョイベースボールでいきたい。そしてキャプテンとして、辛いときも最後までチームを引っ張り、思い切ったバットスイングでチームを勝ちに導きたい。皆さん応援よろしくお祈いします！



いつ:2024年2月24日(土)

どこで:日進市名商大野球場

写真は、名商大とのオープン戦で選手に声かけする神谷キャプテン